

新型コロナワクチン オミクロン株対応ワクチンの接種開始について

国は、新型コロナの従来株とオミクロン株に対応したワクチン（「オミクロン株対応2価ワクチン」）を薬事承認し、初回（1・2回目）接種を完了し、前回接種から5カ月経過している12歳以上の全ての方を対象に、1人1回接種できることとしました。

長生郡市では、**10月17日(月)**からオミクロン株対応ワクチンの接種に一斉に切り替えます。オミクロン株対応ワクチン接種の予約は**10月中旬頃から開始する予定**です。現在は予約できませんのでご注意ください。予約開始日等は広報もばら、健康管理課ウェブページおよび新聞折込でお知らせします。

- オミクロン株対応ワクチン専用の接種券はありません。3・4回目接種用の接種券がお手元にある方は、その接種券を使用して接種が可能です。新たに送付はしませんので、紛失した場合は再発行の申請をしてください。
- それ以外の方（12歳以上の3回目接種完了から5カ月経過者）については、10月中旬から3回目接種日順に順次接種券を送付します。送付までしばらくお待ちください。
- 4回目接種が完了した方は、接種間隔経過後に接種券をお送りします。
- 初回（1・2回目）接種がまだの方は、**従来型ワクチン**により接種を完了し、接種間隔経過後に、オミクロン株対応ワクチンを追加接種することが可能になります。

※国の分科会では、4回目接種対象者について、オミクロン株対応ワクチンの接種が始まるまでの間に接種時期が到来した際には、オミクロン株対応ワクチン接種を待つことなく、従来ワクチンを使用した速やかな接種をとの意見が示されています。

問合せ 健康管理課（2階） ☎(20)1574 FAX(20)1600

市長が行く

医師の働き方改革について

No.142

茂原市長 田中豊彦



千葉県は9の医療圏に分かれています。ここ茂原市は、医療においては、縦長の山武長生夷隅地域に属します。縦長になった理由は、東千葉メデイカルセンターを開設する際に、ベッド数の調整をするために、医療圏の変更を行い、夷隅長生医療圏に山武を加え、山武長生夷隅医療圏に組み替えた記憶があります。がしかし、今では、山武の患者さんが夷隅の病院に行くことはまず考えられなく、また逆のことも言えるのですが、このような医療圏の見直しなども視野に入れ、山武長生夷隅地域では、たびたび医療会議を開催し、この地域におけるさまざまな問題を話し合ってきました。最近では、8月30日19時から、ウェブで執り行われました。

今回の大きなテーマとして取り上げられたのが、「医師の働き方改革について」です。国は令和6年4月から医師の時間外労働の上限規制の適用を開始しますが、そのことにより、診療体制や医師派遣の縮小、廃止など、地域の医療提供体制への影響が考えられます。コロナ禍で、医師や医療従事者の過剰労働がかなり深刻になってきていることから、今回の見直しも必要かと思われませんが、慢性的な医師不足に悩むこの地域としては、深刻な問題です。また、かかりつけ医療機能を担う医療機関（地元の医療機関）と、紹介患者への外来を基本とする医療機関（紹介受診重点医療機関）を明確化することで、外来待ち時間の短縮や、勤務医の外来負担の軽減等を図ることを目的とする制度として、外来機能報告制度をあらためて確認しました。病床機能報告制度との連携で、紹介受診重点医療機関を選定し、主に紹介患者への外来を担う医療機関としての役割を明確化することになります。普段は、近くにホームドクターを持ち、何か問題が起きた時はそこか

らの紹介でより専門的な医療を受けられる病院を受診するというシステムを、推し進めていくということです。他にもさまざまな議論が交わされましたが、今回の会議を終えて、私が気になっていることは、令和6年4月からの医師の働き方改革により、今二次待機医療にご協力いただいている医師の獲得がかなり厳しくなるのではないかと感じています。時間外労働の過酷なことは承知しているつもりですが、待たなしの医療を担う救急体制が、それによって崩れてしまうのではないかと感じています。今さまざまな医療過疎のこの地域に、新たな方法で医療従事者を見つけてくることは困難な状況であるからです。

今後さまざまな議論が交わされていくことと思います。国には地方の医療の現状をもっと理解した上での医療改革をしていただきたいものです。

お知らせ

市では、広報紙の送付を希望される方に無料で郵送しています。メール申込み 秘書広報課（3階） ☎(20)1512 FAX(20)1601

